

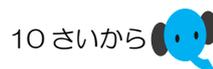
上越市立図書館
子ども読書の日推薦絵本ブックリスト 2023

☆ 4月23日は子ども読書の日 ☆



【イラストマークについて】

おすすめ本の目印として、掲載されている絵本の背表紙に年代ごとに絵柄の違うイラストマークが貼ってあります。本だなどで本を選ぶときの参考にしてください。



0さいから

<p>おばあちゃんスプーン ふくだじゅんこ/さく 大日本図書 2022</p> <p>「あつまってくださいーい！」ごはんのじかんになると、みんないそいであつまるけれど、おばあちゃんスプーンはゆっくり。でも、おさらにくっついたごはんつぶをあつめるのは、おばあちゃんスプーンがとってもじょうず。ひとつぶものこさず、ちゃんとたべられるかな？</p>	<p>おしりじまん 齋藤楓/さく 福音館書店 2022</p> <p>うさぎのまんまるおしり。ゾウのおおきなおしり。トラのしましまおしり。しろくまのしろいおしり。パンダのしろくろおしり。かとおしりがおなじいろ！？おしりがハートのかたちをしているのはだあれ？どうぶつたちの、じまんのおしり、すてきなおしりの絵本です。</p>
<p>たべたのだーれだ？ たむらしげる/さく 福音館書店 2021</p> <p>チーズ、はっぱ、さくらんぼ、ぶどう、オレンジを食べているのはだれだろう。</p> <p>「たべたのだーれだ？」のといかけにあわせて、親子でいっしょにあてっこしてみましょう。</p>	<p>ねこさんのってくださいーい かしわらあきお/作・絵 昭文社 2022</p> <p>ぶーんぶっぶー みずいろのバスがしゅっぱつすると、ころころ ぷりぷり もこもこ おきゃくさんが、バスに乗ってきます。つぎはだれかな？カラフルな色とことばのリズムがたのしい赤ちゃん絵本。</p>

3さいから

<p>いろいろのりものりたいな おおでゆかこ/作 アリス館 2022</p> <p>こぐまのカーリーとくろねこのミニはなかよくおでかけ。きょうは何のりものにする？バス？でんしゃ？きゅうきゅうしゃやパトカーも走ってるよ。いろいろなりものが次々に登場してわくわく楽しくなる絵本です。</p>	<p>くみたて 田中達也/作 福音館書店 2022</p> <p> せんたくばさみをくみ立てると…ブランコ！メガネをくみ立てると…なんと、プール！みのまわりにあるいろいろなものが…“みたて”るだけでだいへんしん！</p>
<p>こんとごん 織田道代/ぶん 早川純子/え 福音館書店 2022</p> <p>キツネのこんとごんは、にているけれどちょっとちがう2匹。すいとんとすいどう、ふたとぶた、たいやとだいやなど、てんてんがあるかないかでぜんぜんちがうことばになった世界をそれぞれほうけんします。読み聞かせにも楽しい絵本。</p>	<p>プリンちゃん なかがわちひろ/ぶん たかおゆうこ/え 理論社 2011</p> <p>プリンのおんなのこ、プリンちゃん。クリームドレスと、かみのけに、かわいいおかしとフルーツのかみかざりをたくさんつけて、さあ、おでかけ！ほかにプリンちゃんのおかあさんやおばあちゃん、おとうさんがでてくる絵本もオススメです。</p>

5さいから

<p>おすしやさんにいらっしやい! おかだだいすけ/文 遠藤宏/ 写真 岩崎書店 2021</p> <p>子どもたちの目の前で、すし職人のおかださんがキンメダイやアナゴ、イカをさばいておすしにしてくれます。生きものが食べものになり、その命をいただいて生きていることを伝えます。</p>	<p>かえるのほんや やぎたみこ/作・絵 PHP 研究所 2022</p> <p>森の池にある木の根元に、かえるのほんやがあります。ここでは、かえるがおたまじゃくしたちに本をよんだり、手作りの本を作ったりしています。でも、おはなしを作るかえるの作家たちは、おはなし作りにいきづまってしまい…。</p>
<p>がっこうにまにあわない ザ・キャビンカンパニー/作・絵 あかね書房 2022</p> <p>いそげいそげいそがないと…学校にまにあわない! きょうは8時まででぜったいに行かなきゃいけない。なんだかへんないつもの道。きょうは学校でいったいなにがあるのでしょうか?</p>	<p>ハルルさんのひでんのカレー すずきもも/作 佐々木十美/協力 アリス館 2022</p> <p>給食室のハルルさんが作るカレーは、クミン、シナモン、ターメリックなど19種類のスパイス入り。最後はハルルさんと子どもたちで作ったカレーを囲んでカレーパーティー!</p>

10さいから

<p>アイスクリームのピクニック L.M.モンゴメリ/原作 小手鞠るい/文 さこももみ/絵 講談社 2021</p> <p>アンは初めてのアイスクリームが食べられるピクニックがとっても楽しみ。ところが、里親のマリラの大切なブローチを失くした疑いをかけられてしまい…。赤毛のアンの名エピソードを、かわいい挿絵とともに楽しめる絵本。</p>	<p>給食室のいちにち 大塚菜生/文 イシヤマアズサ/絵 少年写真新聞社 2022</p> <p>学校で食べている給食はどうやって作られているのかな。栄養士さんや調理員さんはどんな仕事をしているのだろう。身近にあるけれど、なかなか入ったことのない給食室をのぞいてみよう!</p>
<p>ミライイチニチ コマツシンヤ/作 あかね書房 2019</p> <p>空とぶ車に宇宙船、お手伝いロボットに宇宙人!? とおい未来の町でくらしている、ミライくんの一日を、一緒に体験しよう。未来の町はこまかいところまで書き込まれていて、見ているだけでもとてもたのしい1冊です。</p>	<p>わたしがいじわるオオカミになった日 アメリ・ジャヴォー/ぶん アンニク・マソン/え ふしみみさを/やく パインインターナショナル 2022</p> <p>学校にはオオカミのように意地悪なエルザがいる。エルザからいじめをうけていたエマが、ある日我慢して学校へ行くと、いじめのターゲットはシモンに移っていて…。</p>

保護者

<p>あんなにあんなに ヨシタケシンスケ/著 ポプラ社 2021</p> <p>いつのまにか成長し、大きくなる子ども。今は日常に追われる日々でも、後で「あんなに〇〇だったのに」と、振り返る日がやって来ます。何気ない毎日でも特別な毎日に見えてくる、ヨシタケシンスケによる、ちょっとうるっとくる絵本。</p>	<p>海のアトリエ 堀川理万子/著 偕成社 2021</p> <p>おばあちゃんが教えてくれた、子どもたちの特別な夏の思い出。海辺のアトリエで、若い絵描きさんと過ごした「さいここの」1週間、その後のおばあちゃんの生きる力になり、やがて、孫へと引き継がれていきます。</p>
<p>ちいさいおねえちゃん いとうみく/作 えがしらみちこ/絵 岩崎書店 2022</p>  <p>弟が生まれてから、弟にかかりきりのママ。とっこちゃんは「赤ちゃん返り」をするようになってしまい、ママは…。きょうだいが出てきた「上の子」と家族のお話です。</p>	<p>わすれないでね ジーン・ウィリス/文 ラケル・カタリナ/絵 前田まゆみ/訳 寛裕裕/監修 小学館 2022</p> <p>おばあちゃんは孫のジョージがだいすき。でも、ジョージのことをすぐに忘れてしまいます。ジョージはそんなおばあちゃんをなぐさめたり、いっしょに踊って元気づけたり…。認知症の家族の実話を元にした絵本。</p>